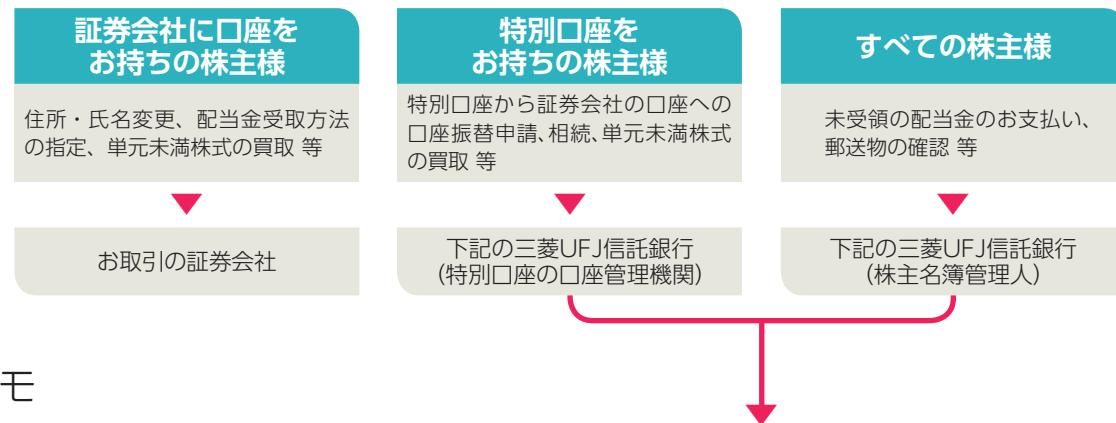


株式Q&A

- Q ▶ 単元未満株式を処分したいのですが...**
- A ▶** 単元未満株式（100株未満）は、そのままでは議決権がない、市場で売買できないなどの制限がございます。そのようなご不便を解消するため、当社に市場価格で買い取るよう請求できる制度(買取請求制度)がございます。
- Q ▶ 特別口座にある株式を証券会社の口座に振替えたいのですが...**
- A ▶** あらかじめ、証券会社に口座開設をした後で、当社の特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行までお申し出下さい。単元未満株式についても振替が可能です。振替にかかる手数料はございません。
- Q ▶ 配当金の受取りが銀行取扱期間を過ぎてしまいました...**
- A ▶** 当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にてお支払いいたします。配当金を確実に受取れる振込制度が便利です。是非ご利用下さい。

■ 株式に関するお手続きについて (お問合せ窓口)



株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

配当金受領株主確定日 期末配当金 12月31日
中間配当金 6月30日

公告掲載新聞 日本経済新聞

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

中期経営計画「YKT Vision 100」のもと、 持続可能な経済社会の実現に貢献する 企業グループを目指してまいります

代表取締役社長 井元 英裕



Q 2022年12月期の事業環境と業績をご説明ください。

A 各市場における戦略的な取り組みが奏功し、3期連続で増収増益を達成しました。

当期の日本経済は総じて厳しい状況で推移しました。ワクチン接種により新型コロナウイルス感染症の重症化が抑えられ、経済活動の正常化が進んだものの、ロシアのウクライナ侵攻に起因する原材料価格や物流コストの高騰が企業業績の押し下げ要因となっています。また、主要国と日本の金融政策の違いから円安が急速に進行し、輸入品を中心に消費者物価の上昇が見られました。

こうしたなか、YKTは2022年1月に始動した第12次中期経営計画「YKT Vision 100」のもと、主力商品の収益力強化と新商品への積極対応に力を注ぎました。この結果、当期の連結業績は、売上高ならびに各利益段階で前期を大幅

に上回る堅調な成績を収めることができました。増収増益は3期連続となります。

有望市場への方向転換に成功した電子機器事業と、市場環境の変化に即応した営業手法を対応させることができた光電子装置および光電子部品事業が業績を牽引しました。加えて、グループ会社を含むすべての事業拠点で黒字を確保できたことも、好業績の一因となっています。

Q 中期経営計画「YKT Vision 100」の概要と、初年度の進捗状況をお聞かせください。

A 中計で掲げた5つの基本方針についてグループの総力を挙げて取り組んでいます。

YKTは2024年に創業100周年の節目の年を迎えます。次の100年に向けた礎を築く期間として2022年から2024年の3年間を対象とする「YKT Vision 100」を策定しました。

本中期経営計画では、最終年度の売上高140億円以上、営業利益7億円以上を目指しています。

計画の初年度であった2022年12月期は売上、利益ともに計画数値を達成し、良好なスタートを切ることができました。この成果を一過性のものにするのではなく、中長期的な成長へと繋げていかなければなりません。グループの総力を結集して外部環境の変化に即応できる組織の構築や人的資本の効率的な運用により重点施策の確実な実施と目標の達成に邁進していきます。

Q サステナビリティへの対応状況はいかがでしょう。

A 環境負荷を低減する設備や機器を提案し持続可能な社会の構築に貢献しています。

地球環境や経済社会のサステナビリティに対する取り組みは、企業が持続的な成長を追求していく上で欠くことのできない重要課題だと認識しています。YKT（本社）はISO14001の認証を受けており、日常的に省エネルギーに取り組むと同時に、環境負荷の低減に寄与する設備や機器を広く産業界に提案することで、持続可能な社会の構築に貢献しています。またYKT自身のサステナビリティに関しては、男性育休の取得促進など幅広い活動を通じて、働きやすい職場環境の整備に努めています。

Q 2023年12月期の経営施策と株主還元の方針についてお聞かせください。

A 2023年4月に発足する新体制のもとで株主価値の向上を追求してまいります。

2023年は従来以上に慎重な経営判断が求められる年度になるでしょう。YKTのお客様においても、人件費の圧縮や生産の効率化だけでは、増大するコストを吸収できなくなり、付加価値の高い製品や事業への転換が進むものと考えています。YKTはこうした状況を成長の好機と捉え、お客様のご要望にお応えする、最新技術を取り入れた製品の提案に力を注いでいく方針です。株主様への利益還元については、これまで通り継続かつ安定的な配当を基本としつつ、業績を加味した適正な還元と戦略的な投資活動を通じて株主価値の向上を追求していきます。

2023年4月からは、柳常務取締役が代表取締役社長に就任し、新たな体制となります。ロシアのウクライナ侵攻に伴う地政学的リスクの高まりに加え、原材料・エネルギーや物流コストの高騰、不安定な為替相場など、2023年も先行き不透明な事業環境が続くと思われませんが、YKTは企業発展の原泉である社員一人ひとりの力を結集し、さらなる成長の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株主通信アンケート結果のご報告

当社グループは、IR(投資家向け広報)活動の一環として、株主の皆様のご意見・ご要望を拝読すべく、アンケートを実施させていただいております。今回のアンケートにおきましては、484名の株主様よりご回答をいただきました。

貴重なご意見・ご要望は、今後のIR活動および「Business Report」作成の参考にさせていただきます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

今後の保有方針



今後の保有方針選択の理由



IR活動で力を入れて欲しいこと(複数回答可)



もっと知りたい情報(複数回答可)



株主様の声

- 株主価値を上げる努力をしてほしい。
- IRをもっと積極的に取り組んで御社の魅力を公表して欲しい。
- 増配を期待します。
- 配当金を増やしてもらえると嬉しいので、未永く応援します。
- 仕事をしているんですか、二度と買いません。
- ガンバレ!
- いい業績の時は連絡が多いが悪いときは、あまり「パット」しない会社。

連結決算ハイライト

売上高

22,079 百万円

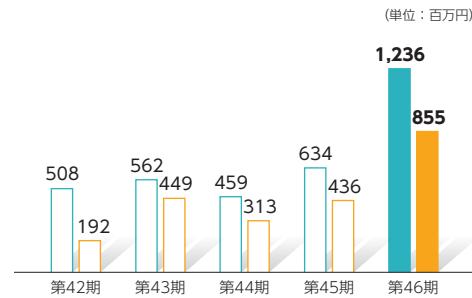


POINT

主力商品の販売力・収益力の強化を実践し、電子機器の輸出版売は、電気自動車 (EV) など車載関連の設備投資需要により、工作機械の国内販売も工具研削盤等の需要回復によりそれぞれ増加し増収となりました。

経常利益

1,236 百万円

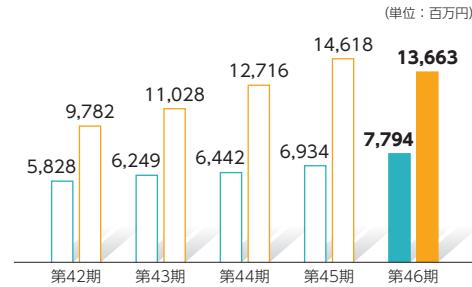


POINT

経済活動の正常化とともに設備投資需要が回復し、工作機械の国内販売が増加いたしました。都市封鎖などにより一時的に物流の停滞が見られた中国市場も車載関連の設備投資需要が順調に推移し、輸出版売が増加となり売上高が増加したため増益となりました。

純資産

7,794 百万円



POINT

総資産は、売掛金及び契約資産が増加しましたが、商品残高の減少などにより、前期末比で9億5千5百万円の減少となりました。純資産は、配当金の支払いが5千8百万円ありましたが、親会社株主に帰属する当期純利益が8億5千5百万円となり、利益剰余金が7億9千7百万円増加したことなどにより、77億9千4百万円となりました。

総資産

13,663 百万円

株主還元

当社は、常にグループの収益力強化に努め、企業価値向上と株主の皆様への適切な利益還元を重要経営課題と認識し、継続的かつ安定的に利益還元を行っていくことを基本方針としております。2022年12月期配当金につきましては、1株当たり8円とさせていただきます。株主の皆様には、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

取扱商品

安定した生産と品質を支える電子機器をはじめとした各種生産設備から時代の最先端を行く光電子装置まで、当社は6つの製品セグメントを擁し、多様化と高度化が進むお客様の高度なニーズに応えています。

電子機器



NPM 高速モジュラーマウンタ
パナソニック コネクト株式会社 (日本)

世界でトップクラスの高性能電子部品実装機をはじめ、一貫した生産設備を取扱い、ベストソリューションを提案します。

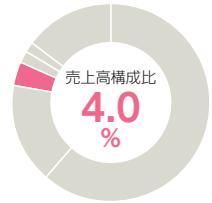


光電子装置



ファイバーレーザーマーカ
サンインストルメント株式会社 (日本)

最先端のレーザー関連機器および光通信関連製品サプライヤーとして独自の地位を確立しています。

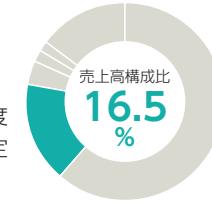


工作機械



CNC工具研削盤
ロコマティック社 (スイス)

時代の最先端を行く高速・高精度な工作機械の提供で、お客様の安定した生産を高い品質で支えます。



産業機械



装飾品汎用ラッピング・ポリッシング装置
クルボアジェ社 (スイス)

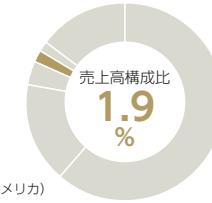
最新鋭製品群と情報ネットワークとの相乗効果で常に最適なソリューションを実現します。



測定機器



高速化・高精度化・省力化等のお客様の高度なニーズに世界で信頼される最新・最先端の測定機器の提供でお応えします。



光学式非接触3次元測定機
OGP / QVI社 (アメリカ)

その他

技術サービスおよび部品等の提供を行います。



会社概要

2022.12.31現在

商号 YKT株式会社
 創業 1924年(大正13年3月)
 設立 1977年(昭和52年10月)
 資本金 13億8,983万6,820円
 従業員数 単体82名 連結133名
 事業内容 電子機器・工作機械・測定機器・産業機械等の輸出入販売
 取引銀行 みずほ銀行、三菱UFJ銀行、りそな銀行、商工中金、きらぼし銀行

役員 代表取締役社長 井元英裕
 常務取締役 柳崇博
 取締役 山本庸一
 社外取締役 尾野恭史
 常勤監査役 渡邊勉
 社外監査役 鈴木啓文
 社外監査役 田口雄

株式の状況

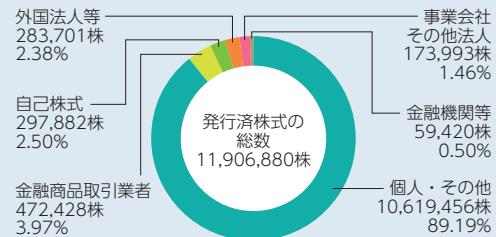
2022.12.31現在

- 発行可能株式総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 11,906,880株
- 株主数 6,592名
- 大株主 (敬称略) 所有株式数(千株) 持株比率(%)

山本久子	2,423	20.88
山本庸一	1,922	16.56
原田千鶴子	159	1.37
株式会社SBI証券	141	1.22
石川貴章	130	1.12
井元英裕	124	1.07
品川次郎	100	0.86
伊藤緑朗	95	0.82
YKT社員持株会	93	0.81
渡邊紘子	85	0.74

(注) 1. 当社は、自己株式を297,882株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式(297,882株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



YKTネットワーク

当社グループは国内外12か所(国内8か所・海外4か所)に拠点を展開——。この広範なネットワークを活用して、生産設備・機器の輸出入はもちろん、最新の技術情報の収集とお客様への提供、製品納入後のアフターケアなど、包括的できめ細かなサービスを展開しています。

- 本社**
〒151-8567 東京都渋谷区代々木五丁目7番5号 YKTビル
TEL 03-3467-1251 FAX 03-3467-1138
- デモンストレーションセンター**
〒183-0004 東京都府中市紅葉丘一丁目24番1号
TEL 042-352-5121 FAX 042-352-5127
- 名古屋支店**
〒457-0038 愛知県名古屋市長区桜本町104番地
TEL 052-822-3101 FAX 052-822-1138
- 大阪支店**
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町一丁目1番1号
TEL 06-6386-8731 FAX 06-6386-8741
- 仙台営業所**
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目10番12号
仙台マルセンビル5階
TEL 022-262-2081 FAX 022-262-2230
- 長野営業所**
〒393-0046 長野県諏訪郡下諏訪町東赤砂4699-14-106
TEL 0266-26-0801 FAX 0266-26-0803
- 福岡営業所**
〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-7-16-205
TEL 092-415-1311 FAX 092-415-1314



1 本社



10 微科帝貿易股份有限公司



9 微科帝(上海)国際貿易有限公司



4 大阪支店



3 名古屋支店



2 デモンストレーションセンター

子会社

- YKT Europe GmbH**
Stuttgarter Str. 106, 70736, Fellbach, Germany
TEL +49-7114-1458500 FAX +49-7114-1430309
- 微科帝(上海)国際貿易有限公司**
上海市長寧区延安西路726号
華敏翰尊國際大廈7樓J座
TEL 021-6225-9911 FAX 021-5238-0087
- 微科帝貿易股份有限公司**
台北市松山区南京東路五段343号
南京世貿IC大樓 6樓-3
TEL 02-2745-5430 FAX 02-2745-5630
- YKT (Thailand) Co., Ltd.**
11th-fl., MD Tower 1, Soi Bangna-Trad25, Bangna-Trad Rd.,
Bangna-nua, Bangna, Bangkok, 10260, Thailand
TEL 02-173-5868 FAX 02-173-5887
- サンインストルメント株式会社**
〒141-0031 東京都品川区西五反田二丁目26番9号
五輪プラザビル4階
TEL 03-5436-9361 FAX 03-5436-9364